

# 平成21年度 第2回大崎市地域自治組織活性事業交付金

## チャレンジ事業審査(公開)セッション



とき

平成21年9月6日(日) 午後1時30分開会

ところ

大崎市鎌田記念ホール

### 平成21年度大崎市地域自治組織活性事業交付金審査委員名簿

		氏名	所属 / 委員区分	
1	委員長	えんどう ちえ 遠藤 智栄	大須デザインスタジオ プランナー/NPOアドバイザー	学識経験を有する者
2	副委員長	あいた まさこ 曾田 征子	古川まちづくり協議会	団体推薦
3	副委員長	おばら ふみお 小原 文夫	松山まちづくり協議会	団体推薦
4	委員	あらか ゆうこ 荒木 優子	三本木まちづくり協議会	団体推薦
5	委員	あら きよひろ 荒 清広	鹿島台まちづくり協議会	団体推薦
6	委員	まやま たかひろ 真山 隆宏	岩出山まちづくり協議会	団体推薦
7	委員	おおえ せいいち 大江 征一	鳴子まちづくり協議会	団体推薦
8	委員	えむら かつし 江村 克志	田尻まちづくり協議会	団体推薦
9	委員	あいざわ かずよし 相沢 和吉	ニューデジタルケーブル株式会社 大崎ケーブルテレビ	市内の企業に勤務する者

#### 市民の暮らしを支える交付金へ

大崎市が平成19年度から導入した交付金では、市民自らが考え、自らが実践する地域づくり活動が期待されています。

交付金の交付にあたっては、審査基準をはじめとする公募方法、審査会の設置、審査方法など、行政が基準を定め審査し交付する行政主体の方法ではなく、市民が作成した審査基準をもとに、市民主体の審査会で交付の決定を行うものであります。

このことが評価され、地方自治法施行60周年を記念した総務大臣表彰も受賞しております。

この交付金が今後の地域活動を活性化し、地域の特性や資源を活かした個性ある地域づくりを促進し、もって市民の暮らしを支える地域自治の基盤が形成されるものとなることを切望いたします。

大崎市地域自治組織活性事業交付金審査委員会

# プログラム

## 第1部

### <公開プレゼンテーション>

1. 開会 (13:30)
2. あいさつ 大崎市長 伊藤 康志  
審査委員会 委員長 遠藤 智栄
3. 審査委員紹介
4. プレゼンテーション

No.1 鹿島台まちづくり協議会 コミュニティ活動委員会  
地域みんながこころ旗めく環境美化活動の推進

No.2 鹿島台まちづくり協議会 活力ある産業委員会  
モーツァルトが子守歌事業

No.3 上野目自治協議会  
来て・見て・知って！上野目自治協まつり

## 第2部

### <大崎市地域自治組織活性事業交付金審査委員会>

1. 審査
2. 総評及び審査発表
3. 閉会 (16:00)



## 申請事業内容（概要）

（発表順番は抽選により決定）

No.1	団体名：鹿島台まちづくり協議会 コミュニティ活動委員会	代表者：堺野 鐵雄
	事業名称：地域みんながこころ旗めく環境美化活動の推進	
	<p>昨年、ワークショップを開催したなかで、ごみのポイ捨てや、不法投棄などのマナーの問題、行政区ごとにクリーン作戦を実施しているが、回数、場所、実施日もまちまちで統一性がないなどの課題ができました。</p> <p>これらを解決するため、地域づくり計画書を作成し、『明るくきれいなまちとこころ』をテーマに鹿島台地域住民総参加で、同じ日に全行政区一斉に実施する新たな事業「ごみ・ゼロ一斉大作戦」に取り組み、環境美化と住民の意識醸成を図っていきます。</p>	

No.2	団体名：鹿島台まちづくり協議会 活力ある産業委員会	代表者：佐藤 良市
	事業名称：モーツァルトが子守歌事業	
	<p>今回の事業の目的は、大崎市鹿島台の産物に癒し・覚醒に効果があると言われるモーツァルトの音楽を聴かせ生産することによって、産物に付加価値を持たせることにより商品力の向上を目指すと共にモーツァルトを聞く文化的な町として町興しを図ることを目的としています。実施概要は主に3点で、ビニールハウスや畑の他苗木育成場に於いてスピーカーを設置してモーツァルトを聞かせる。（仮称）「モーツァルトが子守歌通信」ホームページを開設して成育状況、出荷状況、レシピ等の情報を提供する他、植栽方法解説をします。</p> <p>大崎市鹿島台文化祭に於いてアンサンブルによるモーツァルト演奏会を実施して市民への周知を行います。</p>	

No.3	団体名：上野目自治協議会	代表者：樋野 公男
	事業名称：来て・見て・知って！上野目自治協まつり	
	<p>本会では、複数の団体に所属し、委員や役員が重複することからくる過大な負担の軽減、事業の統廃合、後継者育成等を目指し、平成19年度から約1年半に渡って、組織再編を進めてきました。その結果、平成20年度の試行期間を経て、本年度から4部+事務局と上野目福祉会からなる「上野目自治協議会」を発足させ、新たな歩みを踏み出しました。</p> <p>今回申請する事業は、通常はそれぞれの役割のもとに活動する部・会・局が合同し、地区住民に、生まれ変わった本会活動への理解と協力を広く呼び掛け、これから、多くの住民の関わりを得ながら、地域づくりを行っていく契機にしたいと考えます。</p>	